

成功だった科学万博「玉造町の日」

主な見どころ

科学万博「玉造町の日」	14	12	10	8	6	4	2
臨時議会・残暑見舞	15	13	11	9	7	5	3
リサイクル活動を目ざす							
まちのわだい							
夏休み報告							
玉造町史予約申込							
おしらせ							

科学万博いばらきパビリオンの催事「玉造町の日」が8月7日に行われた。午前と午後の2回、町の郷土芸能を披露。出演した皆さんも、練習した成果を十分発揮、大成功をおさめました。(関連記事2～3頁に)



「玉造町を
全国にご紹介
したい…」と
坂本町長



本間流玉造
吟詠会の皆さ
んによる合吟

「わが町は今
後飛ぶよ
うに発展…」
と貝塚議長



西小OBによるかき踊り



勇ましい大太鼓



午後の部は半て
んを着て「万博
音頭」を！



飛ぶような人気の
「麦茶」サービス

冷たい麦茶をどうぞ



からかさを持って
かき踊り



「大成功でした」

科学万博だっしゅーい



大勢つめかけた
観客席



スタートは「玉造音頭」
そろいのユカタで張り切
った婦人団体

「私は司会の大関
由貴子です。どうぞ
ヨロシク」



ひょっとこで人気を
はくした最年少
増田智子ちゃん
(9才)



「玉造町の日」
追ってました。の催事をカメラで
人団体の玉造音頭で。午前十一時に婦
人団体、玉造音頭でスタート。坂
本町長、貝塚議長、西小OB、玉造音頭
し、西小OB、玉造音頭、詩吟、羽生は
精一杯がんばりました。万博音頭。皆
た団体の皆さーん。苦勞様でした。

「玉造町出身
のコンパニオン
ヤマモト
ヒロコです」



役場のしごとは？ 町の工場は？

おたすねにお答えします

小学三年生たちからお便りが届きました。さる六月二十六日の社会科現場学習で役場を訪れ、そのお札にくれたものです。そのなかで、「役場はどうしていろいろなかきりにわかれてるのですか？」「町には工場は何があるんですか？」などの質問が書いてありました。そこで「広報たまつくり」で、みんなのおたすねにお答えしたいと思います。

えらい人しか入れない
へや、役場のかかりは…

現原小 栗股 巧



6月26日に役場を訪れた
3年生たち

〓 お答えします 〓

『えらい人しか入れないへや』がありますね。そこはいろいろのことをはなし合ったりするのですか。あと、どうしていろいろなかかりにわかれてるのですか。おしえて下さい……。（同じような質問は平岡寛君からもありました）

たぶん、えらい人しか入れないへやとは議場（ぎじょう）だと思います。議場は役場の建物の三階にあります。私たち町民が選挙（せんきょ）で選んだ玉造町議会議員（たまつくりまちぎかいぎん）が

が、町の子算（よさん）や町の仕事の大事なことを決めたり、町長に質問（しつもん）をしたりするところです。議員の数は二十人です。つぎに、役場はいろいろな課（か）と、いろいろな係（かかり）にわけています。表（ひょう）を見て下さい。それは、町のいろいろな仕事を便利（べんり）に、仕事をはやくやるためです。町の仕事には、みなさんが勉強（べんきょう）して、いる学校（がっこう）のことや、農業（のうぎょう）のこと、道路（どうろ）を、をなおしたり、水道（すいどう）を、をなおしたり、からだの健康（けんこう）を守ったり、など、たくさんやる仕事があります。そうしたたくさんある仕事を、すばやくやり、町に住んでいるみんなが利用（りよう）しやすいように、課（か）と係（かかり）にわけて、いるのです。

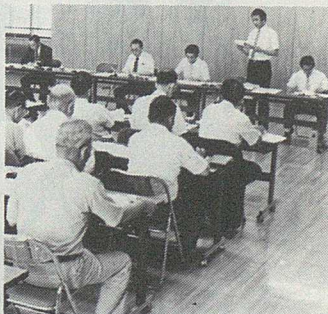
町に工場はいくつ、
病（いん）は…

玉川小 郡司淳志

『人は何人（なんにん）いるんですか。玉造町（たまづくり）には、工場（こうどう）は何（なん）あるんですか。いろいろ勉強（べんきょう）して、いために、なりました。何（なん）病（いん）があるんですか。考えて

「町づくり」への重要な審議 ——町総合開発委員会——

ことし初めての総合開発委員会（べんざくかいふかい）が七月十二日に役場大会議室で行われました。委員会は、新たに委員となった五人の委嘱（いしよく）が行われたもので、昨年度以降の委員会運営の経過、開発事業の状況、今年度の町事業について意見がかわされました。



町長の諮問（しもん）に、又は「基本構想、振興計画、土地利用計画等に関すること」などを調査審議（しあんぎ）します。こうした調査審議（しあんぎ）をもとに、その意見をとりまとめ町長に答（こた）えます。言（こと）ってみれば、町づくりへの貴重な意見（いけん）や考えを反映（はんえん）させる重要な委員会（かいぎ）です。

第4回臨時議会

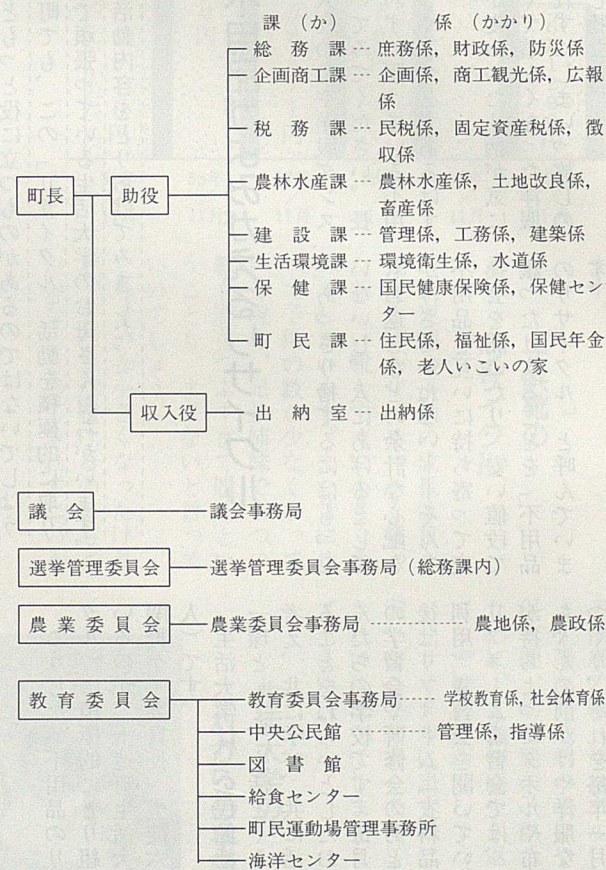
第四回臨時議会が七月二十四日に開かれ、上程（じやうじやう）した四議案（しぎあん）が、すべて原案（げんあん）どおり可決（かけつ）されました。

▼町国民健康保険条例の一部を改正
所得割（しやうとくわり）、資産割（しさんわり）の税率（そくりつ）などが改（あらた）められたものです。

▼町一般会計予算の補正
一般会計（いぱんかい）予算（よさん）の歳入（さいにゅう）で、繰（繰）

千人をちよつとこえたくらいです。この人数（にんずう）は、この十年間（かん）あまりかわっていません。町に工場（こうどう）はたくさんありますが、はたらく人（ひと）の数が三十人以上の工場（こうどう）は八つあります。吉田精工（よしかたせいこう）、井川食品（いかわしんぷく）、ナイルス部品（ないらすぶく）玉造工場（たまづくりこうどう）、吉田真下工業（よしかたまげこうぎょう）、大場紙器（おほのばしき）工業（こうぎょう）、鹿島化成（かしまけいせい）工業（こうぎょう）、麻生精工（あしせいこう）工業（こうぎょう）、池貝鉄工（いけいそくこう）波（な）工場（こうどう）それから、町に病（いん）いんはあります。町のお医者（いしや）さんは医（い）いんで、四（よ）か所（ところ）あります。

町づくりのしくみ《行政機構図》



残暑お見舞申し上げます

町長 坂本常蔵



月（つき）後（ご）れのお盆（ぼん）も過ぎ、暦（れき）のうえでは「秋（あき）」という（い）ことで、暑（あつ）さはまだ（まだ）続き（つづ）きます。町民（ちみん）の皆さん（みなさん）、お体（たい）にはくれぐれも留意（れい）ください。待ち（まち）に待（た）った科学（かがく）万博（ばんぱく）の催（もよお）し

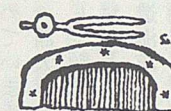
事（こと）「玉造（たまづくり）町（まち）の日（ひ）」も、さる八月（はちがつ）七日（にち）に行（い）われ、無（む）事（じ）成功（せいこう）裡（り）に終（お）わりました。これ（こ）れひとえに、出演（しゅえん）団（だん）体の皆さん（みなさん）を、はじめ、多くの町民（ちみん）の皆さん（みなさん）のご支援（ごしえん）、ご協力（ごきりやく）のおかげ（おかげ）と感謝（かんしゃ）

申し上げます。玉造（たまづくり）町（まち）の名（な）を全国（ぜんこく）に知（し）らしめる絶好（ぜっごう）の機会（きかい）であり、大（お）きな成果（せいこく）があった（あ）ったものと確（た）信（しん）して（し）ております。さて、町（まち）ではこ（こ）し町（まち）村（むら）合併（がっぺい）三十周年（さんじゅうしゅうねん）を迎（むか）え、行事（ぎぎ）を十一月（じゅういちがつ）に行（い）う予（よ）定（てい）で、目（め）下（げ）準備（じゅんぷ）を進（すす）めて（め）います。念（ねん）願（げん）であつた霞ヶ浦（かきうら）大橋（たいしやう）の建設（けんせつ）は三月（さんがつ）に着（つ）工（こう）し、順調（じゆんてう）に工事（こうじ）が進（すす）められて（ら）います。B & G 財（ざい）団（だん）玉造（たまづくり）海洋（かいやう）センターも六月（じゅうろくがつ）四（よ）日（にち）に完成（せいせい）しました。その他（ほか）の諸（しよ）事業（じぎやう）もスムーズにはこ（こ）んで（で）おり、こ（こ）に一言（いちごん）皆さん（みなさん）にご報告（ごほうこく）申（まう）し

越（こ）金（きん）から七百七十八万五千円（しちひゃくしちじゅうはちまんごせんえん）を減（へ）額（がく）、繰（繰）入金（にゅうにんきん）に七百七十八万五千円（しちひゃくしちじゅうはちまんごせんえん）を増（ぞう）額（がく）。歳入（さいにゅう）全体の補正（ほせい）額はゼロ。歳入（さいにゅう）▼町国民健康保険（ちやうこくみんけんこうほけん）事業（じぎやう）特別（とくべつ）会計（かい）予算（よさん）の補正（ほせい）歳入（さいにゅう）歳出（さいしゅつ）予算（よさん）の総額（そうがく）に歳入（さいにゅう）歳出（さいしゅつ）それぞれ百八十八万一千円（ひやくはちじゅうはちまんいっせんえん）を追加（ぞうじ）し、予算（よさん）の総額（そうがく）がそれぞれ七億七千五百一十一万八千円（しちいっぴやくしちじゅうごまんいっぴやくはちせんえん）となりました。歳出（さいしゅつ）の主な内容（しやうぶ）は次のとおりです。○総務（そうむ）費（ひ）から百二十三万九千円（ひやくにじさんまんきゅうせんえん）の減額（げんがく）、納税（なうぜい）報償（ほうぎやう）費（ひ）です。○老人（らうじん）保健（ほけん）拠出（きしゅ）金（きん）から二百三十五万九千円（にひゃくさんじゅうごまんきゅうせんえん）の減額（げんがく）。○基金（ききん）設立（ていり）金（きん）へ百一十萬一千円（ひゃくいちじゅうまんいっせんえん）の増額（ぞうがく）。○諸（しよ）支出（ししゅ）金（きん）へ四百三十七万八千円（しやうひゃくしちじゅうしちまんはちせんえん）の増額（ぞうがく）。退職（たいしやく）被（ひ）保険（ほけん）者（しや）等（ら）の償置（ちやうち）金（きん）。▼町老人保健（ちやうらうじんほけん）特別（とくべつ）会計（かい）の補正（ほせい）歳入（さいにゅう）歳出（さいしゅつ）の総額（そうがく）に、歳入（さいにゅう）歳出（さいしゅつ）それぞれ七百九十二万八千円（しちひゃくきゅうじゅうにまんはちせんえん）を追加（ぞうじ）し、総額（そうがく）が三億七千六百八十七万三千円（さんいっぴやくしちじゅうはちまんしちじゅうさんせんえん）となりました。歳出（さいしゅつ）の主な内容（しやうぶ）は次のとおりです。○諸（しよ）支出（ししゅ）金（きん）へ七百九十二万八千円（しちひゃくきゅうじゅうにまんはちせんえん）の補正（ほせい）増（ぞう）額（がく）。一般会計（いぱんかい）繰（繰）出（しゅ）金（きん）へ七百七十八万五千円（しちひゃくしちじゅうはちまんごせんえん）と償還（ちやうかん）金（きん）へ十四万三千円（じゅうしばんさんせんえん）の増額（ぞうがく）です。

リサイクル活動さ

玉造町生活大学



世の中の移りかわりによって「消費」が美徳と言われたり、「節約」が美徳と言われてきました。しかし、いつの世になってもその価値が変わらないのは「リサイクル（不用品交換）」ではないでしょうか。使いふるしものや、押し入れに眠っているものを再利用する……私たちの生活のなかでもチョット気をとめるともつと役に立つものがあるのではないのでしょうか。町でも、この「リサイクル」活動を積極的に取りくんで頑張っている生活大学のお母さんたちがいます。その活動内容をとりあげてみました。

不用品がよみがえるリサイクル

押し入れの奥や洋服ダンスをのぞいてみてください。長い間使わずに眠っている不用品の一つや二つ必ずあるはず。体型が変わったり柄が気に入らなくて着なくなった洋服、使いきれずにしまいつ放しの引き出し物などです。

あつさり捨てるにはもったいないし、人にあげるとしてもお返しなどの余計な心配をかけさせかねない——そんな不用品を互いに持ち寄って交換会を開いたり、安い値段で譲ったりすることを「不用品のリサイクル」と呼んでいます。

こうした「不用品のリサイクル」に積極的にとり組んでいるのが、玉造町生活大学（関野ケイ委員長、生徒六十七人）です。

生活大学は、公民館活動の一環として、生活とくらしを考え、共に学び、共に活動することをねらいとしたお母さんたちの学校です。毎月一回の学習会や研修会のあと、午後はリフォーム（衣料品の再利用）講習会を開いています。リフォーム講習会では、各自が持ちよったタオルや布で赤ちゃんの前かけや洋服などをつくり、それを毎年一月の公

「リフォーム」と「バザー」で活躍

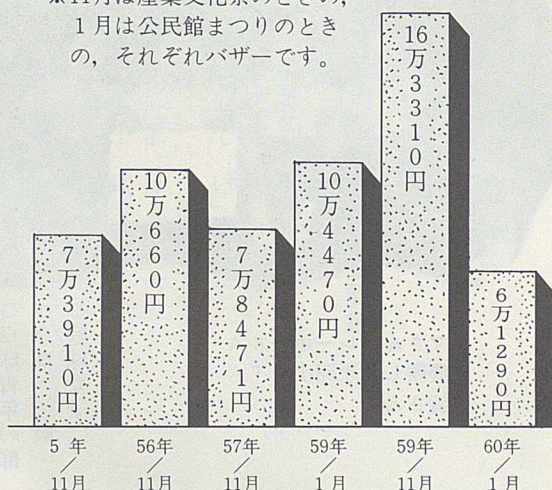
民館まつりと、十一月の産業文化祭でのバザーに出しています。

もちろん、バザーには皆さんからも不用品の申し込みを受けておられます。そのときの売上げ金は全額町の社会福祉協議会の善意銀行へ寄付しています（棒グラフ参照）。

皆さんも、いらなくなったからとか、着なくなったから……などと考え、すぐ捨ててしまふのではなく、もう一度見直しリサイクルに役立ててください。生活大学のバザーでは、事前に皆さんにお知らせし申し込みを受けつけてい

バザーの売上金を町の善意銀行へ寄付

※11月は産業文化祭のときの、1月は公民館まつりのときの、それぞれバザーです。



子供靴のリサイクル

幼児期の子供の成長は目を見はるばかり。せっかく買った新しい靴もすぐに小さくなってしまします。また昔に比べて子供の数が少なくなっている現在、兄弟姉妹で一つの靴を履きつづすまで履くということも、まずないといいいでしょう。

ちよつと小さくなったけれど、まだまだ履けるのにもつたないかと捨てきれずにいる

生活大学のこれからの事業

- 八月 救急医療について
 - 九月 移動学習会
 - 十月 健康と体力づくり
 - 十一月 不用品バザー
 - 十二月 料理講習会（おせち料理）
 - 一月 不用品バザー
 - 二月 学習会
 - 三月 映画と話し合い
- （毎月学習会後に、衣料品再利用（リフォーム）講習会を行います）

遠くにありて… 幡谷東吾（東京都）



私には「ふるさと」が二つある。生れてから四歳頃まで住んだ沖洲、それから十二歳頃まで住んだ佐原市。

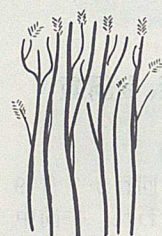
佐原市への移住は、祖父の素人事業の失敗による倒産で父が親戚を頼って同市での勤めを得たからであり、再び沖洲に帰住したのは、働き過ぎた父が咽喉結核となって療養

生活をやむなくし、生計のメドが立たなくなったからである。

従って私も兄弟は、世に出て一本立ちするまでの幼時の思い出は、寒々とした貧窮の日々であった。——それゆえ思い出の沖洲も佐原も、どこか陰画めいた薄暗さのつきまとうのを常とするが、その薄暗さの中で幼いながら心を寄せ合って生きて来た十数年が存在したことにより、それぞれの知恵と才覚でなんと

にちが得られたように思う。

明暗いずれにあらうとも老いてなお「ふるさと」は心の拠り処であることに間違いはない。《俳誌「花実」主宰・現代俳句協会顧問》



タオルを使って赤ちゃんの前かけなどのリフォームを行ない「リサイクル」を進める生活大学のお母さんたち（中央公民館で）

木目込人形教室 作品より



「第14回伝統工芸江戸木目込人形全国作品展」で入選の海老沢広江さんの作品「おさらい」

当町が総合優勝！

郡民体育祭大会

第三十三回行方郡民体育祭大会が七月七日に北浦村を主会場に行われ、わが玉造町が総合優勝しました。当町は球部の部の活躍が目立ち優勝したものです。

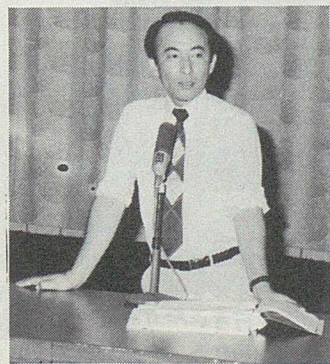


ママさんバレーボールAで優勝した現原小PTAの皆さん

- 球技
- ママさんバレー
- ボールA
- 現原小PTA
- 卓球青年の部
- 卓球一般
- 庭球女子

「高齢者の健康」を講演

高齢者教室の第3回目が7月19日に中央公民館で行われ、午前中鉾田保健所の医師による講演会がありました。講演は「高齢者の健康保持について」と題し、この日出席した約50人のお年寄りたちを前に、高血圧について約1時間講演しました。講演に先立ち、保健婦の血圧測定も行われ、測定の結果、高めの方は4人でした。午後からは、それぞれ趣味を生かしたクラブ活動を行いました。



総合で六位、玉造小チーム

こども自転車県大会

「昭和六十年年度交通安全こども自転車実技テスト」によって競技が行われたもの。玉造小学校チームは、麻生地区の代表として出場し、団体で六位、玉造小チームが六位に入りました。



水質浄化ポスター

霞ヶ浦流域の小・中学生を対象として募集していた「霞ヶ浦水質浄化ポスター・標語」のポスターの部で玉造小学校の3人が入賞しました。

- 優秀賞 鶴田曉美(玉造小六年)
- 優秀賞 島田安晴(玉造小二年)
- 優良賞 定別当玲子(〃六年)

わだに

暑さにもメケズ びびりにもメケズ

消防団夏季教養訓練



基本からみっちり指導を

町消防団の「幹部並びに初任者教養訓練」が七月二十八日に玉造中学校グラウンドで行われた。この日訓練を受けたのは部長、班長以上の幹部団員六十六人と初任者六十八人の合わせて百三十四人。指導にあたったのは町消防団の指導者十二人と北部消防署員十二人。訓練に先立ち、坂本町長があいさつにたち「訓練は暑くて厳しいときの方が効果がある。ロスのないようスピーディーな訓練をしてほしい」と述べました。続いて松本団長は「団員各位には常日頃より消防団の為に尽力いただき

まのち

始まった古文書解読教室

「古文書解読教室」が、七月二十六日から町立図書館で開かれています。来年度の二月まで毎月一回の予定で開かれ、初日には郷土文化研究会など、約五十人の町民が参加しました。講師は「玉造町史」にも協力いただいた池上和子先生。



講師の池上先生

- 9/27「御触れ」通達」の中から(2)
- 10/25馬法度
- 11/22竹原宿と助郷
- 12/20天明期の災害記録
- 1/24麻生藩の人口対策について
- 2/21明治14年旧藩主新庄家報恩趣意書

西小はやしの会 浜地区婦人会

孝子祭

が奉仕

ことしも孝子弥作の遺徳をたたえ「孝子祭」が8月8日に東福寺境内で行われました。招待されたお年寄りたちに、西小はやしの会の児童たちが「西小はやし」を披ろうし喜ばれました。浜地区の婦人会のお母さんたちも手伝いの奉仕や万博音頭などを踊り活躍しました。

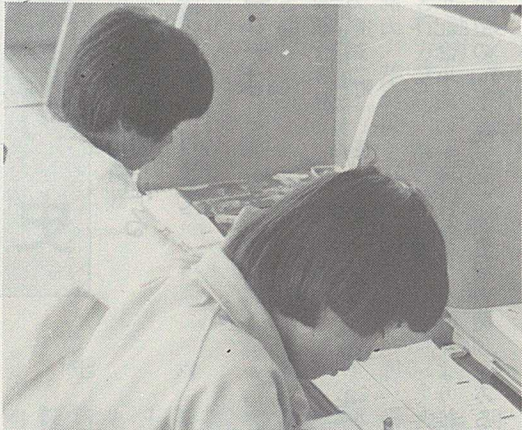


お年寄たちに「はやし」を披ろうする西小はやしの会の児童たち

暑さにマケズ



夏休み



宿題一すじ……

夏休みの一日、お友達同士の森作裕美子さんと遠藤亜紀子さんの二人は図書館で宿題の勉強。玉造中1年生二人は、この日テニスの部活もなく、国語と数学に頭をひねっていました。「ここは静かだし、すずしいから……」でも「旅行にも行きたいな!」とか。夏休み後半も、ここで頑張りマス!と張り切っています。

図書館より

公民館教室より

真剣です……(茶道教室)



昨年町の産業文化祭で「茶会」の席にでたのがきっかけで、この教室で学ぶようになった南善枝さん(玉造小6年)。半年がすぎ、先生の指導でどうにか形になってきた。でも…初歩の段階。善枝さんは「難かしくて!」

と言うが、先生の評価は「おぼえがとってもよい」とのこと。



夏休み中に、同じ地域に住む友達がいつしよになって自分たちの地域の歴史や文化や自然を学ぼうと行われた教室。玉造小の五・六年生二十八人が参加。七月二十四日から八月六日まで六回にわけて、自然学習・海洋性スポーツ・竹

……にハッスル!

ふるさと少年教室

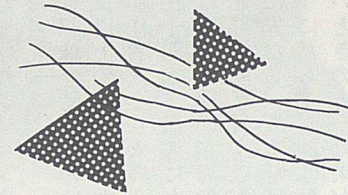
歴史・自然・スポーツ

細工などを学びました。教室では、玉造高校生会のメンバーが指導や補助に協力。七月二十六日は桃浦の艇庫でボートやカヌーに挑戦。真夏の直射日光を浴びて海洋性スポーツを学びました。



▶ 高校生会のお兄さん、お姉さんたちとレクリエーションをカヌーに挑戦

報告



ガンバッテマス

手賀地区学習センターで七月二十六日より開かれていた卓球教室は玉造中の田中優儀君、理崎和典君、大和祐司君の三人が学んでいます。三人とも卓球部員。



スマッシュ指導 (卓球教室)

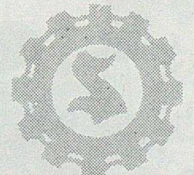
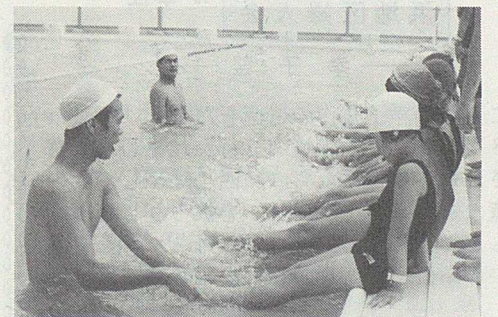
教室が開かれた初日には、講師の先生と同じに初心者のお母さんたちや大昭会のお年寄りたちを相手に卓球を指導。スマッシュがさえました。

海洋センターより

ブクブク・パ〜

(ジュニア水泳教室)

海洋性スポーツ教室の一環として、7%~8%までと8%~9%までの2回にわけて「ジュニア水泳教室」が行われます。小学1年生から3年生までの30人が参加。海洋センターの石田・平野両教官の手とり足とりの指導で、水をこわがっていた子も「ブクブクバアー」をできるようになった。みんないっしょうけんめいでした。



商工会だより
会費の口座
自動振替に
ご協力を!!

この度、通常総代会の議案で会費の口座振替の件について、審議の結果承認されました。昭和60年度後期分会費より実施したいと存じますので商工会職員が自動振替依頼書を持参してお邪魔した際には宜しくご協力お願い致します。

労働保険料の納付はお早めに

八月は、労働保険料の第二期分の納付月になっています。八月二十日までに遅れないよう商工会の方へ納入して下さい。(納入金額はハガキでお知らせ致します。)

国民公庫の融資制度のご利用を

国民公庫では、中小企業者向けの中元資金融資の取扱いをしております。制度の概要は左記の通りですが、お早目に計画を立てて申込みされることが望まれます。

- (ご融資限度) 二千五百万円以内
- 特定設備については三千五百万円以内
- (利率) 年七・二%
- (ご融資期間) 運転資金 五年以内
- 設備資金 十年以内
- (保証人) 原則として一名
- (担保) 必要に応じて提供していただくこともあります。
- (その他) すでにご利用の方も重複してお申込できます。

玉造町史

予約申し込み締切迫る

八月三十一日まで

発刊のことば

玉造町史編集委員長 坂本常蔵

町村合併三十周年記念事業の一環として、一昨年より推進してまいりました待望の『玉造町史』通史編の発刊をみるこ
とになりました。

緑豊かな土地と、霞ヶ浦の水に恵まれた玉造町は、ふりか
えてみれば、先人達の偉大な努力の歴史の積み重ねの上に、
今日にみる発展を上げてまいりました。ここに私達の祖先の
たどった足跡をしのび、あわせて正しい資料を後世の人々の
ために伝えていくことは、極めて意義深いものがあると思
います。

本町では、久しく郷土文化研究会が、郷土資料を『玉造史
叢』にまとめ、既に二十六集まで発刊してまいりましたが、
今回の『玉造町史』通史編は、風土の歴史的、地理的、民俗
的な特長を生かした構成のもとに、当町のあゆみを数多くの
資料を駆使して、しかも、現代の視点に立つて正しくみつめ
学問的であるとともに、興味深く平易に叙述したものであり
ます。

本書が当町の歴史を知る手掛りとして、一人でも多くの皆
さんと、数多くの研究者の方々に愛読され、当町の理解と認
識を深められることを念じて、ここにご案内申し上げます。

町村合併三十周年記念

限定出版のため購読希望者は

お忘れなく地区班長さんにお申し込み下さい

町史購読のすすめ

玉造町区長会長 鈴木勝雄

新しい玉造町が誕生してから三十年を迎えました。旧町村時代にも増して経済力
も一層伸び、行政の充実が図られ、私達町民の生活も向上してまいりました。特に
教育文化への関心は高まるばかりです。このような折『玉造町史』が編纂されたこ
とは誠に喜ばしい限りです。

先史からの文化遺産を数多く残し、恵まれた風土の中で育んできた私達先祖の生活
を、垣間見ることが出来るわけです。

『玉造町史』が各家庭に一冊ずつ置かれ、郷土の歴史の手引書として、あるいは、
家族の間の世代を越えた会話と相互理解の一助となることを確信しております。

鈴木勝雄	小貫義直	関野吉次	山口芳男
田中信義	理崎農夫	滝ヶ崎三郎	高塚清
曾根廣	川尻静雄	堀田音吉	木村富雄
沼田啓	堀和芳雄	川島進	萩原健吉
仲田清一	長島子年	木村壽一	遠藤新平
栗股和夫	茂木義夫	橘川正治	齋藤昇
大曾根啓儀	石田千代吉	上山区長	石田豊
富田和正	森作三好	羽成徳門	小沼春雄
千葉弥四郎	塚本誠		

(以上町内区長三十四名)

玉造町史の主な内容

第一編 自然環境

- 一 玉造地方の風土
- 二 気象と生活
- 三 自然景観

第二編 原始古代

- 一 原始時代の玉造地方
- 二 玉造のあけぼの／稲作の伝来
- 三 古代の玉造
- 四 行方郡衙と井上廃寺／曾尼駅と古代交通
- 五 常陸国風土記と玉造地方
- 六 池の文化と玉造地方

第三編 中世

- 一 武家社会の展開と玉造地方
- 二 常陸大掾氏の行方郡進出／大禰宜中臣氏惣領体制の変質
- 三 南北朝動乱と行方支族
- 四 玉造地方における北朝の動向／行方支族の発展／芹沢氏の興亡
- 五 戦国期の玉造地方
- 六 鎌倉府体制と行方諸氏／唐が崎合戦と周辺諸氏／芹沢氏と古河公方／玉造氏の滅亡
- 七 玉造地方の城館と寺社
- 八 玉造の城館と諸井

第四編 近世

- 一 佐竹氏の統一
- 二 佐竹氏と玉造地方
- 三 江戸幕府の成立と玉造地方
- 四 藩の成立と玉造地方／藩の農村支配
- 五 郷土の産業と交通
- 六 霞ヶ浦と諸産業／陸上交通／西

蓮寺市と浜市

- 一 封建社会の動揺と玉造地方
- 二 領主の財政難／飢饉と郷土
- 三 幕末騒乱期の玉造地方
- 四 斉昭雪冤運動と玉造地方／玉造郷校の開設／尊攘運動の激化と玉造地方
- 五 郷土文化の諸相
- 六 医学と教育／玉造地方の文芸
- 七 玉造地方の祭りと芸能
- 八 玉造地方の祭り／年中行事

第五編 近代

- 一 明治維新と玉造地方
- 二 大区小区制と玉造地方／地租改正とその結果／自由民権運動
- 三 (旧)玉造町の誕生と住民の生活
- 四 玉造村から玉造町へ／武蔵野原と陸軍演習場
- 五 明治末・大正期の玉造地方
- 六 日露戦争後の玉造地方／大正期の玉造地方／交通の発展
- 七 昭和初期の玉造地方
- 八 昭和恐慌と玉造地方／戦時下の玉造地方／軍国主義と教育
- 九 戦後の玉造地方
- 十 戦争と住民生活の変化／農地改革と生活の変化
- 十一 新しい玉造町の誕生
- 十二 玉造町の誕生／学校の統廃合／とる漁業から作る漁業へ
- 十三 新しい町づくり
- 十四 新庁舎の落成と行政の効率化／明日の玉造をめざして

◎玉造町史の特色

- ◆ 行方地方では初めて町の通史をわかり易く書いた。
- ◆ 珍しい写真を豊富に集めた。
- ◆ 新しい資料・史料をできるだけ紹介した。
- ◆ とくに霞ヶ浦と生活とのかかわりに重点をおいた。
- ◆ 町内外の多くの方々との協力によってできた。
- ◆ B5判 上製函入 六六〇頁 口絵六頁
- ◆ 本文掲載写真 約七〇〇葉
- ◆ 本文掲載写真 約七〇〇葉

◎予約申し込みについて

頒価 五、五〇〇円

但し予約申し込み者に限り

町民 二、五〇〇円(二世帯一冊限り)
町外 五、〇〇〇円

予約申し込み期限

昭和六十年八月三十一日まで

申し込み方法は

地区ごとに班長さんに申し込んで下さい。

◎連絡先

茨城県行方郡玉造町甲四〇四
郵便番号 三一一―三五
玉造町教育委員会内
玉造町史編さん委員会事務局
電話 〇二九九五 〇一一一 内線四七七

利用しやすく、
サービスの充実めざす

郵便法の一部改正

このほど郵便のサービス改善をはかり、わたしたちが利用しやすいように、郵便法の一部が改正され、さる七月一日から施行されました。その主な改正された内容の概要を紹介いたします。(内は改正前のものです)

★大きくなった通常郵便物
大きさの最大限が「長さ60cm、長さ・幅・厚さの合計90cm」となりました。(長さ40cm、幅27cm、厚さ10cm)

★利用しやすい料金後納制度
担保の種類が拡大へ金融機関の保証され、金額も軽減されました。(現金又は郵政大臣の指定する有価証券に限定)

★あて名変更や取戻しの請求が容易に
差出郵便局のほかに、郵便物の集配事務を取り扱う郵便局又は、地方郵政局長の指定

チャリティコンサート
収益金を寄付



さる七月十四日に開かれた「チャリティコンサート」江幡和子ピアノリサイタルの収益金三万二千六百三

第一回若い芽の
コンサート

これから、子供たちの音楽指導にあたってゆく仲間の「第一回若い芽のコンサート」が開かれます。入場無料です。皆さんどうぞご参加ください。

人権相談所を開設

○日時 九月二十日(金)午後二時
○会場 玉造町中央公民館大ホール
○出演者 西村真寿美、保坂圭志、桜井由利子、浅野由美

NTTの電話教室の
ご利用を



NTT石岡電報電話局では、電話を安く効果的にご利用し



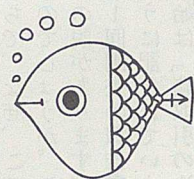
昭和59年度 社会福祉法人玉造町社会福祉協議会収支会計報告

収入		支出	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
会費	1,563,000	会議費	221,760
町補助金	4,273,000	総務費	3,181,767
県社協交付金	1,525,500	事業費	5,241,788
配分金	1,162,291	諸支出金	402,700
諸収入	57,592	予備費	14,730
繰越金	985,547	翌年度繰越金	504,185
計	9,566,930	計	9,566,930

〈支出〉事業費内訳 (5,241,788円)

科目	金額(円)	内容
支会運営費	350,000	5支会(玉川、手賀、玉造、現原、立花)×70,000円
法外援護費	23,000	一時援護
老人福祉費	3,568,560	1.敬老会の助成 2.「敬老の日」記念行事費用(祝品、その他)
遺族福祉費	540,228	合同慰霊祭時費用(弁当、供物、神宮、僧侶手当、マイクロバス代、その他)
世帯更生資金貸付指導者実費弁償費	60,000	民生委員 25名×2,400円
募金協力費	100,000	日赤、共募の配分金を各区に募金協力費として配分
善意銀行活動費	56,000	善意の証、記念品(額)代
ボランティア活動推進	394,000	ボランティア団体育成費 ボランティア関係事務費
児童・生徒ボランティア普及事業推進費	150,000	ボランティア協力校活動費(玉川小学校)

第128回
公民館民謡教室

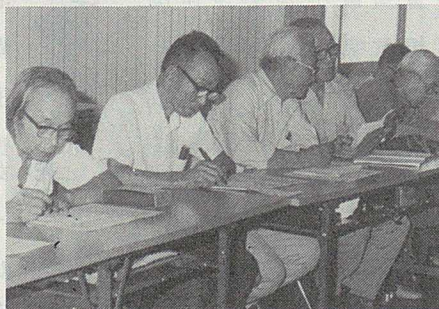


兼題字入「自由・民権・発祥」
なんと言はれりよと私は自由
あの娘へそまで出す水着
自由欲しさにアパート住い
今は待ってる母の声 幸江
背負いきれない赤字を乗せて
走る国鉄民営化 正花
権利ばかりを表に出して
義務はさっぱり知らぬ振り 美代
梅雨もあがって賑う浜辺

咲いた民謡恋の花 翠峰
自給自足の暮しに慣れて 過疎を離れぬ老夫婦 まさお
籠が日向にや自由の世界 水を浴びたり歌ったり 都美
今日は越路へあす信濃路へ 自由気ままな一人旅 令音
独り暮らしの自由のよさも 老いりや寂しい時もある 伸子
理由も知らずに唄入れて 赤い顔するお節入り 義一
峠越えれば民家が並ぶ 里は湯けむり青嵐 藤娘
権利かざした角突き合せ 遺産あつての不幸せ 秋扇
知らぬ同士が話に花を 咲かすローカル自由席とくじ

祭りばやしや民謡踊り 老もハッスル科学博 いなほ
月に三度は気軽な旅に 民謡やどの家族と語り合つ 草女
枝の配りは自己流だけど 二十余年の手塩松 有美
歌に踊りに民謡酒場 お国訛りがなつかしい きみ
昨夜発作の喘息騒ぎ ホットしている今朝の顔 豊山
何も知らずに始めて見たが 自信ないままつくる民謡 道子
席題「他」 他人の言葉ですぐ角立てた 久子
齢重ねて丸く聞く

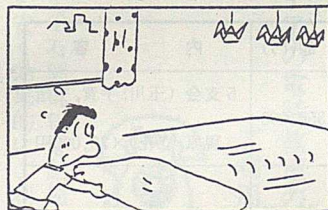
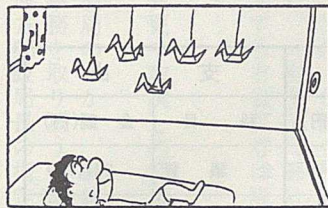
思い切れよと矢切の渡し 乗って唄った他人舟 訥也
元を正せば真赤な他人 今は夫婦で燃える仲 竹堂
他人事よと思つた老後 いつか吾身に振りかかる 和代
他人行儀に両の手ついて 嫁となつての里帰り とく女
人手不足で他人の飯も 世辞を上手に盛って出す 夢情
老いちゃいられぬうす紅引いて 他目気にせぬ若づくり 青芦
花と蝶との他生の縁も 一生連れ添う仲じやない 幾代
話し合うこと他愛もないが いつも楽しい二人です 夜蝶



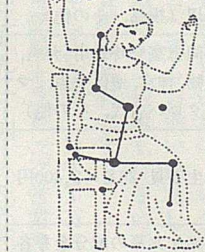
民謡教室から(中央公民館)

君がさわ

西村 宗



カシオペア座



九月には、午後八時ごろ
北東の空に見えます。

九月の星座

○八月七日の『玉造町の日』の様子を今月号に入れた。
そこで、発行が少しおそくなりました。あれほど『万博』博とさわいでいたのが、終わってしまふと妙にむなしいような……でも立派に披らうでき、まずはご苦勞様でした。

編集
後記



昭和60年
国勢調査



国勢調査三情報

国勢調査は

なぜ10月1日か

国勢調査は、大正9年の第1回調査以来ずっと10月1日に行われてきました。1年365日のうちで、なぜ、この日を選んだのでしょうか。これには二つの説があります。その1、第1回調査の報告書には次のように記されています。年末年始は「諸取引の決算、年賀の風習があるうえ地域によって積雪が深く不適当」夏は「炎熱激しく」春は「旅行・遊山する者が多く」調査時期にふさわしくない。そこで「比較的人口分布が常態

で、全人口の大半を占める農業従事者にとつては必ずしも農繁期ではなく、かつ1年の4分の3を経過した10月1日をもつて最も適当な調査の時期と決めた。その2、10月1日は、4月から始まる会計年度の中央の日であることから、調査結果を行政上利用するのに便利であるから、というも

休・祭日当番医

9/1	日曜日	金塚	医院	☎50556
9/8	日曜日	関野	医院	☎60102
9/15	敬老の日	根本	医院	☎5538
9/16	振替休日	方波見	医院	☎50551
9/22	日曜日	金塚	医院	☎50550
9/23	秋分の日	根本	医院	☎50538
(診療時間 午前9時～午後4時)				

誕生おめでとう
ぎいります



出産

（6月）

沖荒若八羽浜柄八西芹谷羽捻浜谷竹宿と	洲宿海蔦生貝蔦寺沢島生木島塙ところ
森阿原千井鈴加原松小森鈴森川松飯小	田部田崎場木藤田金崎作木作島葉田崎赤ちゃん
哲達衣英克仙健雄豊健誠敦裕祐智貴	史也子香晃充太司貴治志和史登一二也幸
二長二長二長二長二長二長二長二長二長	男男男女男男女男男女男男女男男女男続柄
信信隆利治元久光孝完利和勝武裕正正幸	夫夫男貞男兆男司雄治夫彦志一男一保護者

上羽芹荒諸宿谷沖浜沖荒横横根と	山生沢宿井島洲洲宿町町屋ところ
島小石山高會須飯小幡栗伊伊関氏	田貫田口須根貝島崎谷又藤藤野名
西守正て優みつすきみ忠きキ子	松一信義る子さるきみ忠きキ子

おめでとう
お祝い
お祝い

死亡

（6月）

谷西八若	島連木海	小根土磯	沼本子山	尚恵泰敏	子美弘之	長女長男	一和喜	朗伯久	宏
------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	---